

記念シンポジウム

しらぎぐん

新羅郡の時代を探る

11 / 24 日(土)・25 日(日)

10:00 ~ 16:30 (受付開始 9:30)

会場: 和光市民文化センター小ホール (サンアゼリア)

参加費: 無料

定員: 200名 (先着順・定員に達し次第終了)

申込: 10月10日(水) から 11月22日(木) まで

電話・E-mail・窓口のいずれかの方法で和光市教育委員会生涯学習課へ。

※E-mailでお申し込みの際は、件名を「記念シンポジウム申込」とし、本文中に参加される方の氏名・住所・電話番号を明記してください。



和光市 花ノ木遺跡出土遺物

奈良時代の天平宝字二(758)年に建郡された新羅郡は、和光市を含む朝霞地区四市と、その周辺地域で構成していたと推定され、今年¹²⁶⁰年を迎えます。市では、当時の遺跡出土土遺物の特別展とシンポジウムを開催します。当時の新羅郡の時代背景や郡役所について学び、歴史・文化財の大切さを考えてみましょう。

シンポジウム1日目

I部 基調講演

武蔵国新羅郡誕生の歴史的背景について

講師: 宮瀧交二氏 (大東文化大学文学部教授)

II部 新羅琴と邦楽演奏

演奏: 久本桂子氏 (日本音楽集団) ほか

III部 基調報告 新羅郡域の遺跡

朝霞市の遺跡 講師: 照林敏郎氏 (朝霞市教育委員会)

志木市の遺跡 講師: 大久保聡氏 (志木市教育委員会)

新座市の遺跡 講師: 川畑隼人氏 (新座市教育委員会)

和光市の遺跡 講師: 鈴木一郎 (和光市教育委員会)

11/24
(土)

シンポジウム2日目

IV部 基調報告 新羅郡関連の状況

中武蔵の土器様相

—須恵器・土師器からみた新羅郡—

講師 根本 靖氏 (所沢市教育委員会)

高麗郡建郡の背景

講師 中野高行氏 (日本高麗浪漫学会理事)

幡羅郡と郡家跡

講師 知久裕昭氏 (深谷市教育委員会)

V部 討論 新羅郡の時代を探る

・推定新羅郡域内の奈良平安時代遺跡の分布

・建郡期の集落遺跡

・新羅郡の中心地(郡衙)の推定

・まとめ

◇導入・パネラー紹介: 鈴木一郎

◇コーディネーター: 宮瀧交二氏

◇パネラー: 照林敏郎氏、大久保聡氏、川畑隼人氏

根本 靖氏、中野高行氏、知久裕昭氏

11/25
(日)



和光市 HP QRコード

【交通案内】

東武東上線・東京メトロ有楽町線・副都心線で和光市駅下車。「南口」から徒歩約15分。

【お問い合わせ】

和光市教育委員会 生涯学習課

文化財保護担当

TEL: 048-424-9119

FAX: 048-464-7901

E-mail: h0300@city.wako.lg.jp



関連シンポジウム情報

関東の明日香村～幡羅官衙遺跡群～

国史跡指定記念シンポジウム

『飛鳥時代の役所と地域社会』

11月10日(土)

深谷市民文化会館大ホール

問合せ: 深谷市 文化振興課 TEL 048-577-4501